

食肉関係基礎資料

第 1 回委員会提出資料参考 5と同じ資料

	頁
・ 肉用牛飼養戸数・頭数の推移	1
・ 豚飼養戸数・頭数の推移	2
・ ブロイラー飼養戸数・頭数の推移	3
・ 我が国の牛肉生産の概要	4
・ 我が国の豚肉生産の概要	5
・ 我が国の鶏肉生産の概要	6
・ 牛肉流通の概念図	7
・ 牛肉・豚肉の流通経路	8
・ 鶏肉の流通経路	9
・ 銘柄牛肉地図	10
・ 銘柄豚肉地図	11
・ 銘柄鶏肉地図	12
・ 食肉分割の過程	13
・ 牛枝肉取引規格	14
・ 牛枝肉格付結果 格付等級割合	15
・ 牛部分肉の主な用途	16
・ 豚部分肉の主な用途	17
・ ブロイラー部分肉の主な用途	18
・ 牛肉需給の推移	19
・ 一人当たりの消費量の推移（食肉計、牛肉、 豚肉、鶏肉、供給総熱量（全食料））	20
・ B S E 発生以降における食肉の家計消費量 （ 1 人当たり ）	21
・ 牛枝肉卸売価格「品種別規格別」（中央 1 0 市場）	22
・ 食肉卸売業の概要	23
・ 食肉小売業の概要	24
・ 食肉の小売価格	25

○肉用牛飼養戸数・頭数の推移

- ・飼養戸数は、小規模層を中心に減少しており、近年は年率5～7％の割合で減少。
- ・飼養頭数は、輸入自由化（3年4月）以降も増加傾向で推移したが、7年以降はわずかに減少傾向で推移。14年はわずかに増加。
- ・一戸当たり飼養頭数は着実に増加。

区 分 / 年		2	7	8	9	10	11	12	13	14
肉 用 牛	戸数(千戸)	232.2	169.7	154.9	142.8	133.4	124.6	116.5	110.2	104.2
	(対前年増減率)	(▲5.6)	(▲8.0)	(▲8.7)	(▲7.8)	(▲6.6)	(▲6.6)	(▲6.5)	(▲5.4)	(▲5.4)
	頭数(千頭)	2,702	2,965	2,901	2,851	2,848	2,842	2,823	2,804	2,838
	(対前年増減率)	(1.9)	(▲0.2)	(▲2.2)	(▲1.7)	(▲0.1)	(▲0.2)	(▲0.7)	(▲0.7)	(1.2)
	一戸当たり(頭)	11.6	17.5	18.7	20.0	21.3	22.8	24.2	25.4	27.2
うち 子取用 めす牛	戸数(千戸)	—	—	132.0	121.8	114.9	107.3	—	94.4	89.3
	頭数(千頭)	687	701	673	654	649	644	636	635	637
	一戸当たり(頭)	—	—	5.1	5.4	5.6	6.0	—	6.7	7.1
うち 肥育牛	戸数(千戸)	—	—	37.4	34.2	31.7	28.9	—	24.5	21.2
	頭数(千頭)	1,739	1,916	1,881	1,857	1,854	1,861	1,857	1,830	1,845
	一戸当たり(頭)	—	—	50.0	54.0	59.0	64.0	—	75.0	87.0

資料:農林水産省「畜産統計」、「肉用牛の飼養動向」、「乳用牛の飼養動向」、「家畜の飼養動向」

注:子取用めす牛と肥育牛を重複して飼養している場合もあることから、両者の飼養戸数は肉用牛飼養戸数とはとは一致しない。

○豚飼養戸数・頭数の推移

- ・飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に年率1割を超える割合で減少してきたが、9年以降、減少率は鈍化傾向で推移。
- ・飼養頭数は減少傾向で推移しており、10年はわずかに増加したものの、11年以降はわずかに減少。
- ・一戸当たり飼養頭数は着実に増加。

区 分 / 年	2	7	8	9	10	11	12	13	14
飼養戸数(千戸)	43 (▲13.5)	19 (▲14.9)	16 (▲14.9)	14 (▲10.0)	13 (▲6.9)	13 (▲6.7)	12 (▲6.4)	11 (▲7.7)	10 (▲7.4)
うち肥育豚千頭以上層(千戸)	—	—	2.0	2.0	2.0	2.1	—	2.1	2.1
戸数シェア(%)	—	—	(16.6)	(18.7)	(19.7)	(21.3)	—	(24.0)	(21.3)
飼養頭数(千頭)	11,817 (▲0.4)	10,250 (▲3.5)	9,900 (▲3.4)	9,823 (▲0.8)	9,904 (0.8)	9,879 (▲0.3)	9,806 (▲0.7)	9,785 (▲0.2)	9,612 (▲1.8)
うち子取用雌豚(千頭)	1,182 (▲2.6)	970 (▲3.8)	941 (▲2.9)	934 (▲0.8)	939 (0.6)	931 (▲0.9)	929 (▲0.2)	922 (▲0.8)	916 (▲0.7)
うち肥育豚千頭以上層(千頭)	—	—	6,013	6,134	6,304	6,450	—	6,640	6,615
頭数シェア(%)	—	—	(64.4)	(66.4)	(67.2)	(68.8)	—	(68.2)	(69.3)
一戸当たり平均 飼養頭数(頭)	272.3	545.2	618.8	682.2	739.1	790.3	838.1	906.3	961.2
一戸当たり平均 子取用雌豚頭数(頭)	31.1	58.4	66.8	73.5	78.9	84.7	90.2	97.5	91.6

資料: 農林水産省「畜産統計」、「家畜の飼養動向」

○ブロイラー飼養戸数・羽数の推移

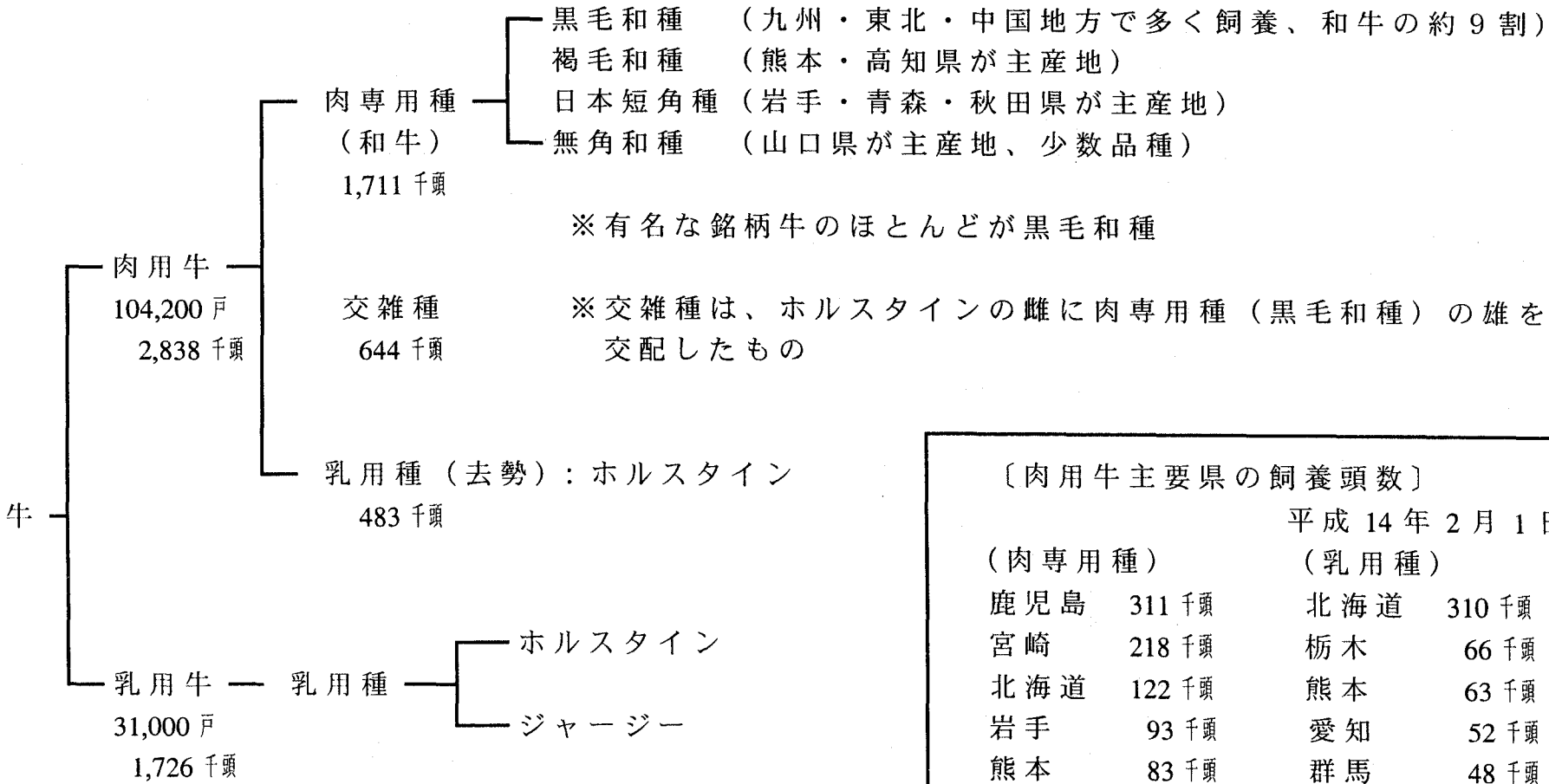
- ・飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に年率3～5％の割合で減少。
- ・飼養羽数は、62年以降減少傾向で推移。
- ・一戸当たり飼養羽数は着実に増加。特に、大規模層（年間出荷羽数10万羽以上）のシェアは出荷戸数、出荷羽数ともに拡大。

区 分 / 年	2	7	8	9	10	11	12	13	14
飼養戸数(戸)	5,529 (▲5.2)	3,853 (▲6.7)	3,607 (▲6.4)	3,516 (▲2.5)	3,367 (▲4.2)	3,192 (▲5.2)	3,082 (▲3.4)	2,986 (▲3.1)	2,900 (▲2.9)
うち年間出荷羽数 10万羽以上層(戸)	2,413 (40.6)	2,150 (49.7)	2,056 (49.9)	1,998 (50.2)	1,945 (51.6)	1,900 (52.0)	1,862 (53.2)	1,850 (54.7)	— —
戸数シェア(%)									
飼養羽数(千羽)	150,445 (▲1.7)	119,682 (▲6.0)	118,134 (▲1.3)	114,314 (▲3.2)	111,659 (▲2.3)	107,358 (▲3.9)	108,410 (1.0)	106,311 (▲1.9)	105,658 (▲0.6)
うち年間出荷羽数 10万羽以上層(千羽)	561,269 (79.2)	509,712 (84.0)	508,449 (84.8)	502,532 (85.3)	491,359 (85.9)	492,450 (86.2)	494,063 (86.8)	496,765 (87.5)	— —
羽数シェア(%)									
一戸当たり平均 飼養羽数(羽)	27,200	31,100	32,800	32,500	33,200	33,600	35,200	35,600	36,400

資料：農林水産省「畜産統計」、「畜産物流通統計」

我が国の牛肉生産の概要

— 4 —



〔肉用牛主要県の飼養頭数〕			
		平成 14 年 2 月 1 日	
(肉専用種)		(乳用種)	
鹿児島	311 千頭	北海道	310 千頭
宮崎	218 千頭	栃木	66 千頭
北海道	122 千頭	熊本	63 千頭
岩手	93 千頭	愛知	52 千頭
熊本	83 千頭	群馬	48 千頭

我が国の豚肉生産の概要

○代表的な純粋品種

- ①大ヨークシャー（白色）：品種改良や雑種を作るための品種として評価。
- ②中ヨークシャー（白色）：我が国の環境に適し、古くから飼養されていた品種だが、現在は減少。
- ③バークシャー（黒色）：肉質が極めて良好な品種（テーブルミートに向く。）。
- ④ランドレース（白色）：ロースハムやベーコンなど加工用に適している品種。
- ⑤ハンプシャー（黒色）：肩から前足にかけて白帯がある。赤肉量が多い品種。
- ⑥デュロック（褐色）：性質はおとなしく、強健で暑さに強い品種。

○肉豚の約9割は、純粋種を交配して作った交雑種により生産

飼養戸数及び頭数（平成14年2月1日）

（全国）		（主要県）	
飼養戸数	10,000 戸	鹿児島	1,070 戸 1,293 千頭
飼養頭数	9,612 千頭	宮崎	810 戸 854 千頭
		群馬	550 戸 631 千頭
		茨城	830 戸 613 千頭
		北海道	450 戸 546 千頭

（参考）

- 豚肉における「黒豚」の表示について
- ・「黒豚」の肉と表示出来るのは、バークシャー純粋種の豚肉だけ。
（豚肉小売品質基準〔農水省畜産局長通達（平成11年6月14日改正）〕、食肉の表示に関する公正競争規約〔全国食肉公正取引協議会（平成12年2月24日変更）に規定）
 - ・「黒豚」の肉であると誤認されるおそれがある表示をすると、公正競争規約違反に該当。

我が国の鶏肉生産の概要

○肉用鶏とは肉生産を目的とする鶏であり、採肉用鶏ともいう。

現在は肉用鶏のほとんどが発育の早い肉専用種の交配種を若齢肥育したものであり、こうした肉用若鶏をブロイラーと称している。

○代表的な品種（肉専用種）

①白色プリマスロック：発育が早く産卵性も優れていることから、ブロイラー種鶏の雌系として利用。

②白色コーニッシュ：発育が良く胸の肉付きが良いことから、ブロイラー種鶏の雄系として利用。

○一般的なブロイラーの交配方式

白色コーニッシュ（雄系）×白色プリマスロック（雌系）による交配種：発育速度が早く、飼料要求率に優れ、世界中で最も多く肉用鶏として飼育されている。

（参考）

近年、在来鶏（シャモ、名古屋コーチン等）を活用、長期間肥育する等の高品質鶏が開発・普及されており、特殊鶏肉・銘柄（ブランド）鶏肉として生産・販売されている（生産量は数％程度）。

飼養戸数及び羽数（平成14年2月1日）

（全国）

（主要県）

飼養戸数 2,900 戸

鹿児島 359 戸 18,258 羽

飼養羽数 105,658 千羽

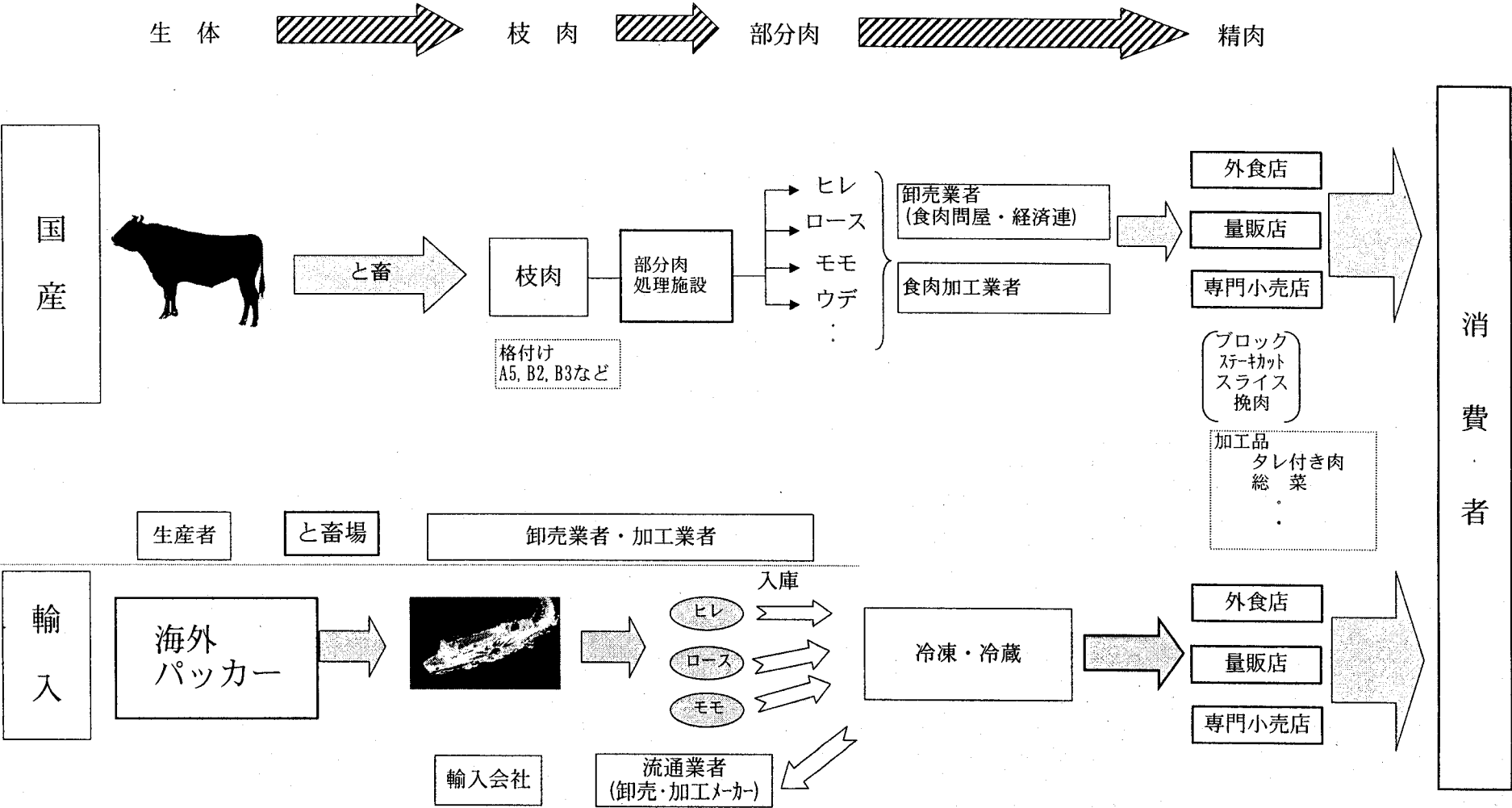
宮崎 420 戸 17,365 羽

岩手 286 戸 14,810 羽

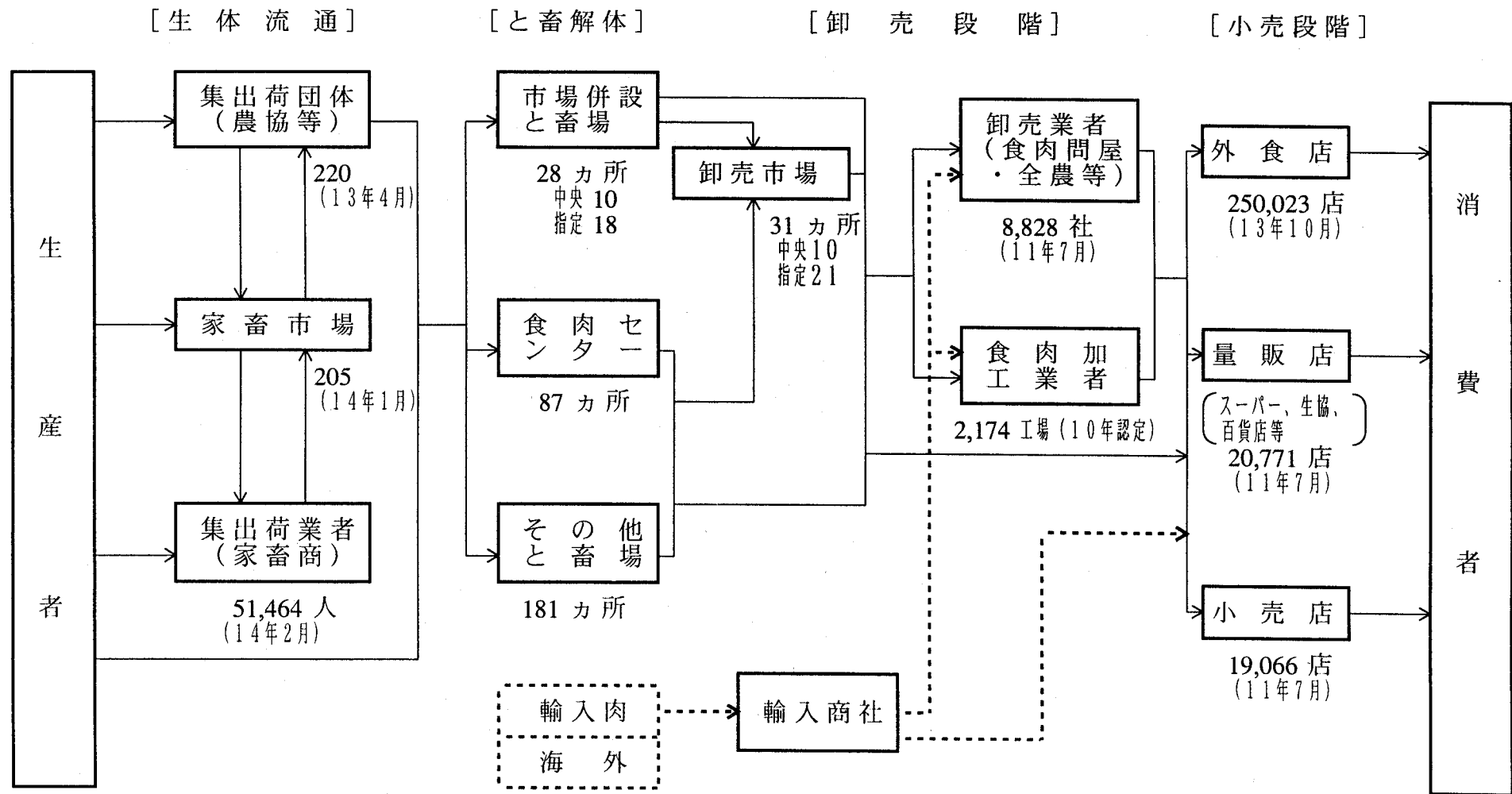
徳島 293 戸 4,810 羽

青森 46 戸 4,492 羽

牛肉流通の概念図



牛肉・豚肉の流通経路



資料：農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課調べ

注 1：断りのない場合のカ所数は平成10年の数値

注 2：卸売市場の指定市場21カ所のうち1カ所については休止中

注 3：食肉加工業者の数値は、食品衛生法に基づく食肉製品製造業認可工場数

注 4：外食店の数値は、商業統計による食堂、レストラン及びハンバーガー店の合計（牛肉、豚肉を販売していない店の数も含まれている。）

注 5：卸売業者、量販店、小売店の数値は商業統計によるため、牛肉、豚肉を販売していない店の数も含まれる

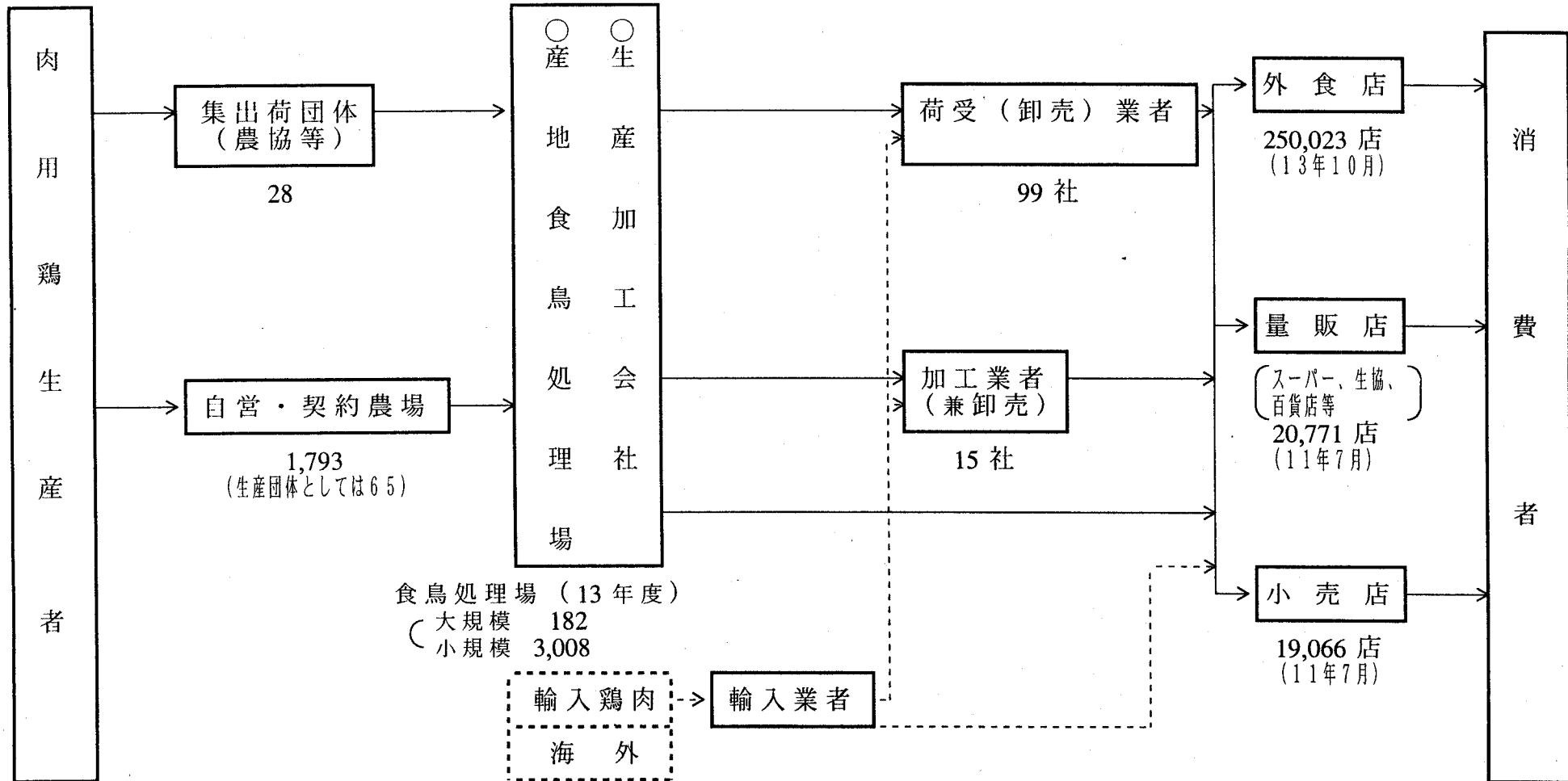
鶏肉の流通経路

[生産]

[処理・加工]

[卸売段階]

[小売段階]



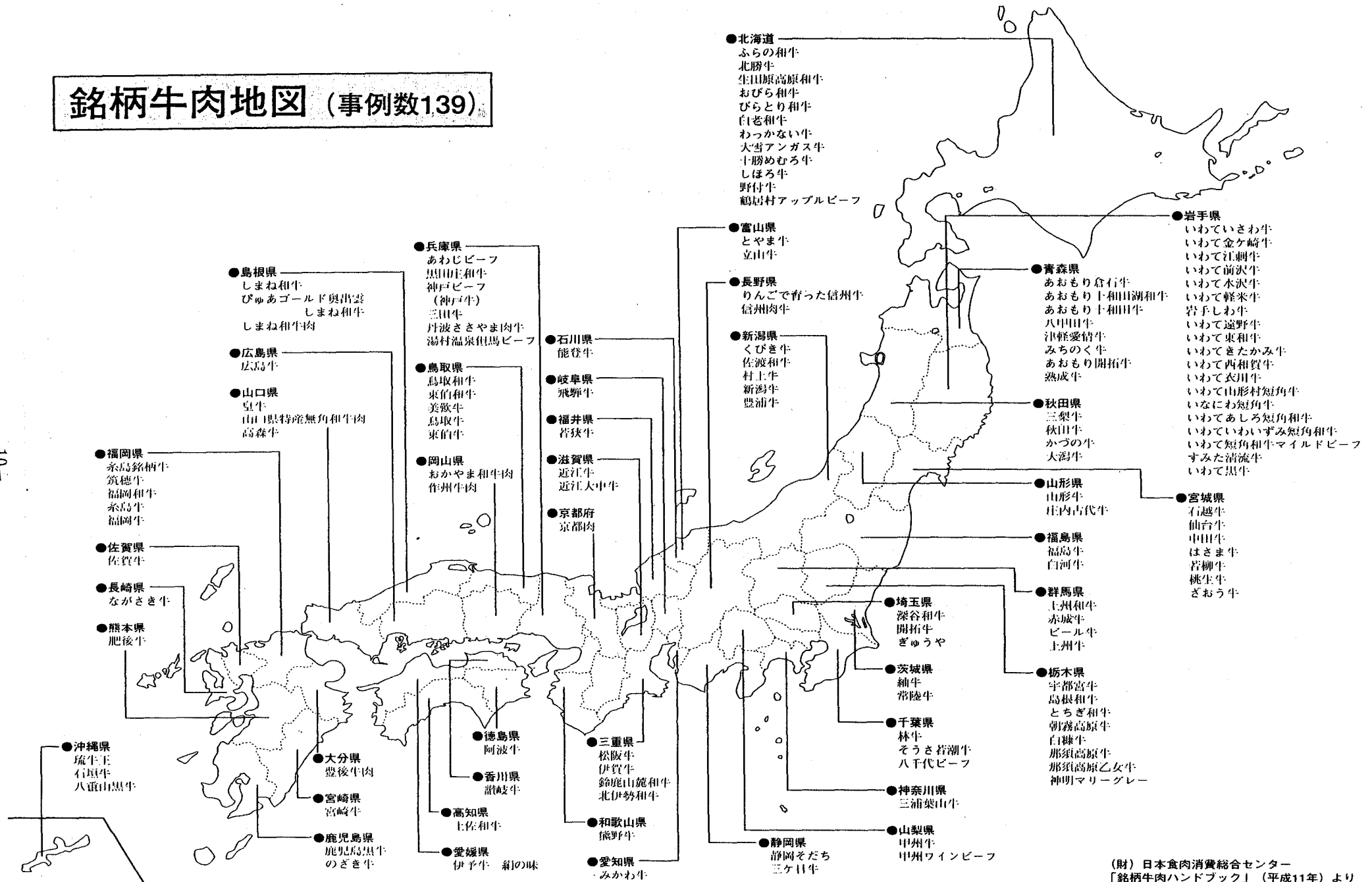
資料：農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課調べ

注1：(社)日本食鳥協会会員 1,447名 (14年3月末) について、整理したもの

2：小売段階については商業統計によるため、鶏肉を販売していない店の数も含まれている

銘柄牛肉地図 (事例数139)

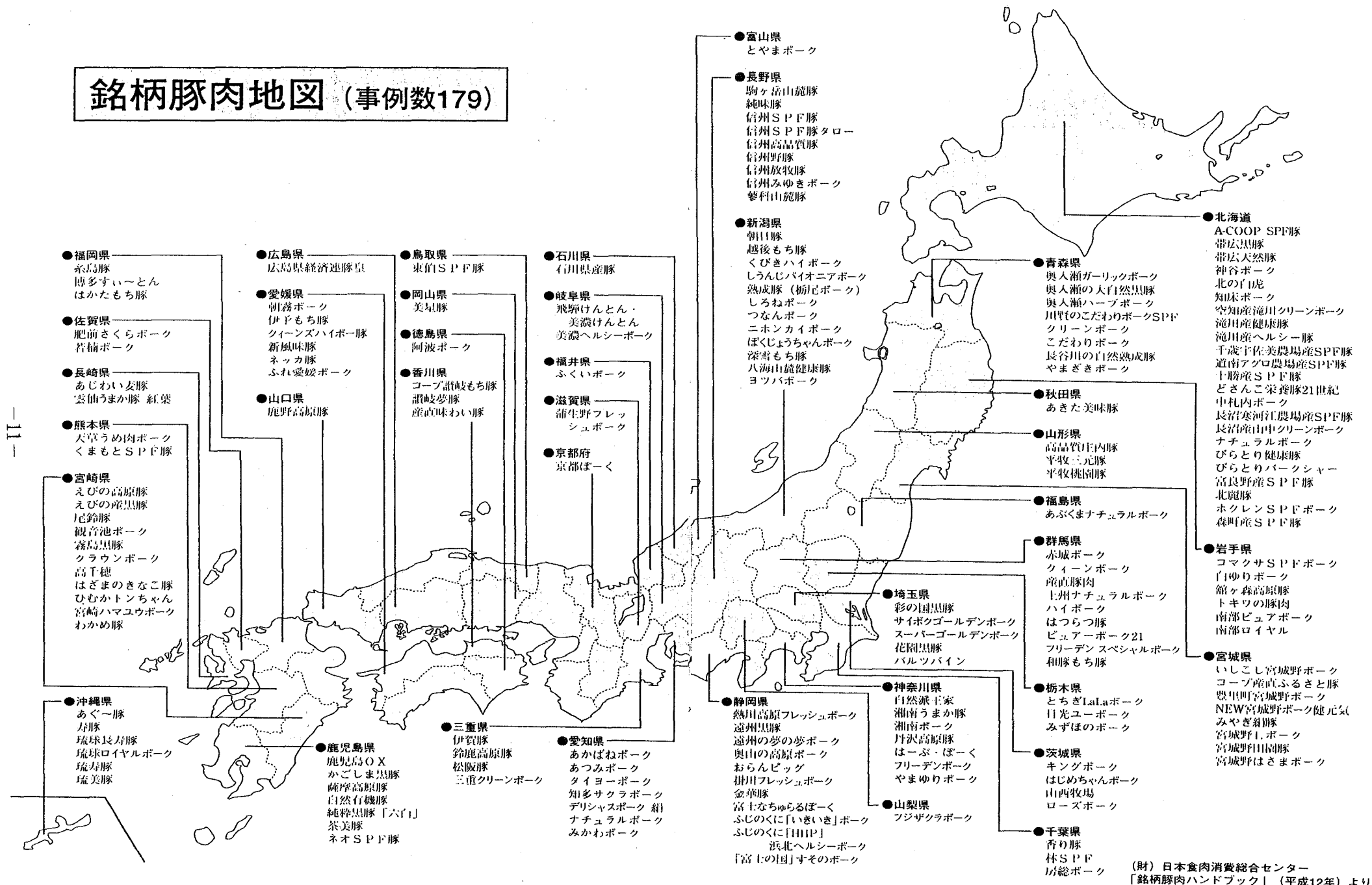
- 10 -



(財) 日本食肉消費総合センター
 「銘柄牛肉ハンドブック」(平成11年)より

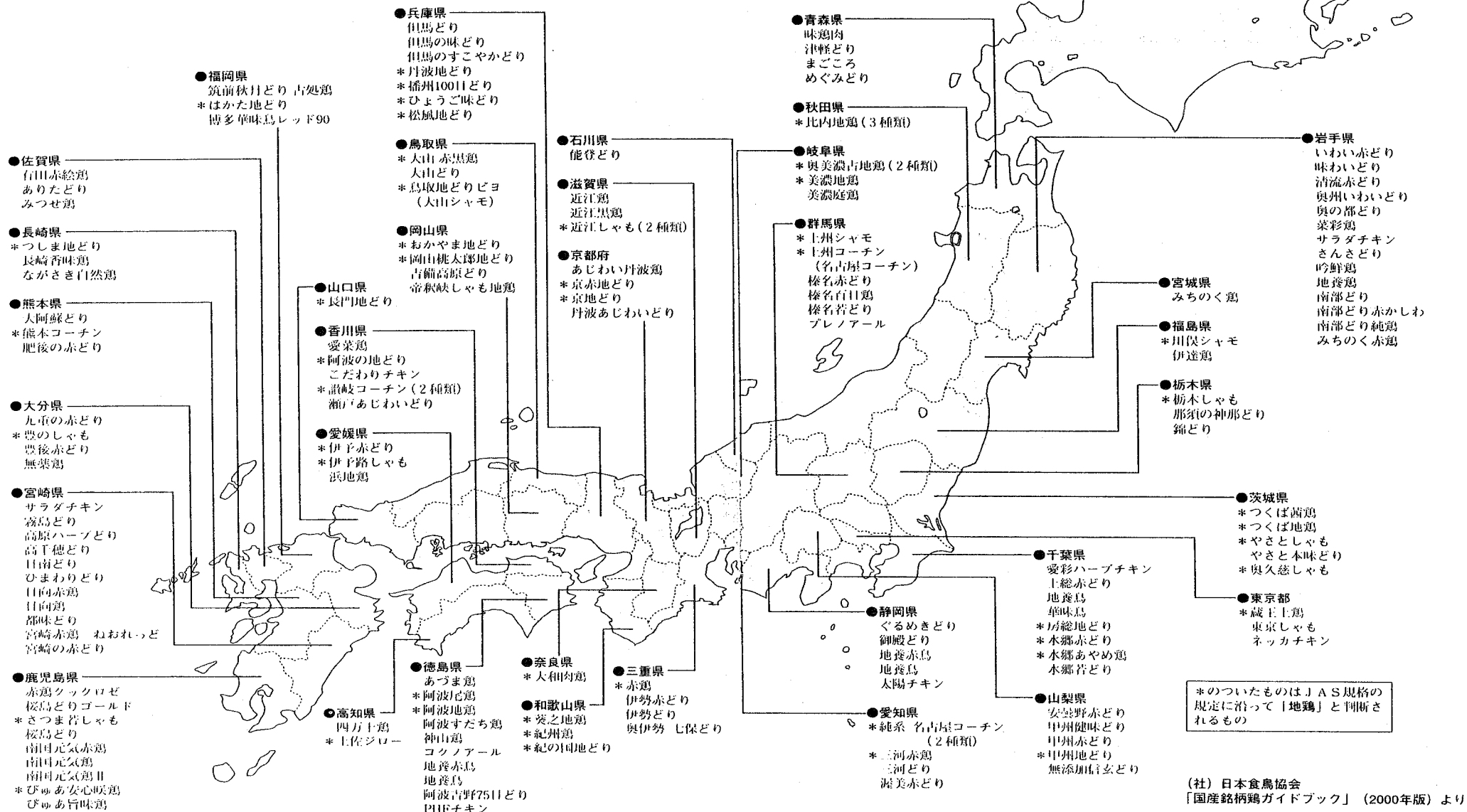
銘柄豚肉地図 (事例数179)

— 11 —



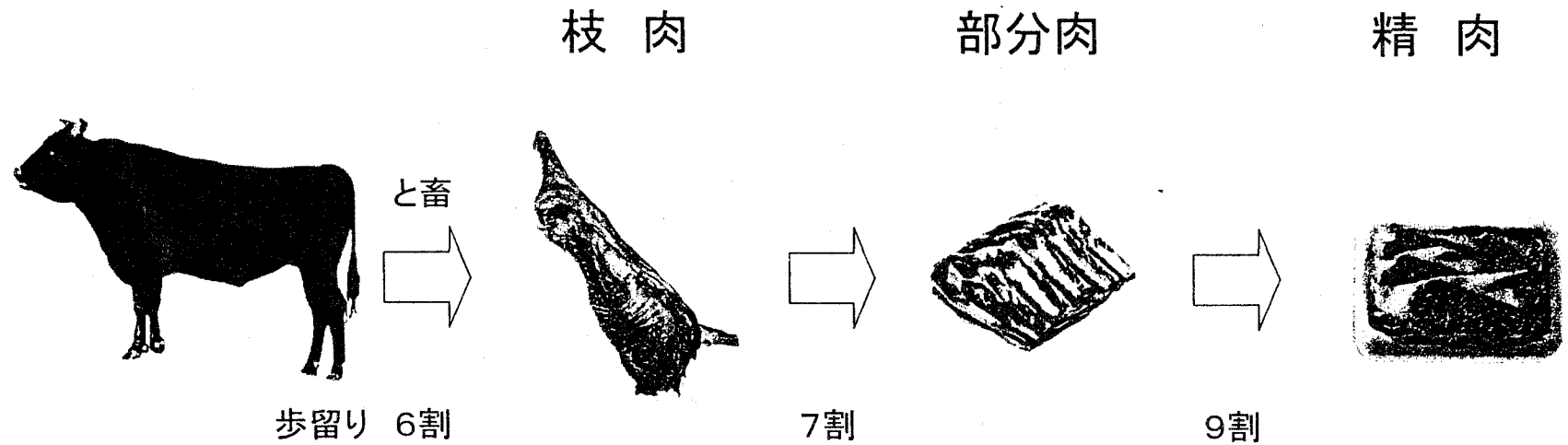
(財) 日本食肉消費総合センター
「銘柄豚肉ハンドブック」(平成12年)より

銘柄鶏肉地図 (事例数158)



*のついたものはJAS規格の規定に沿って「地鶏」と判断されるもの

食肉分割の過程



枝肉:

と畜後、放血してはく皮し、頭部、足、尾、内臓を摘出した骨付きの肉

部分肉:

枝肉を部位別に分離し、除骨した後、血液等の汚染部位やリンパ節などを除去し、余分な脂肪を削り取って整形した状態の肉

精肉:

部分肉を消費者の用途に合わせて、厚切り、挽き肉などの状態にした肉

牛枝肉取引規格

規格の等級表示は、歩留等級と肉質等級のそれぞれを連記表示する
(例：A 5，B 3，B 2など)。

※ 昭和63年4月1日より実施。

(1) 歩留等級

等 級	歩留基準値	歩 留 (部分肉歩留)
A	72以上	標準より良いもの
B	69以上72未満	標準のもの
C	69未満	標準より劣るもの

左半丸枝肉を第6～7肋骨間で切開し、切開面における4項目の数値を下の算式に入れ計算し、歩留基準値を決める。

$$\begin{aligned} \text{歩留基準値} = & 67.37 + [0.130 \times \text{胸最長筋面積 (cm}^2\text{)}] \\ & + [0.667 \times \text{「ばら」の厚さ (cm)}] \\ & - [0.025 \times \text{冷と体重量 (半丸枝肉) (kg)}] \\ & - [0.896 \times \text{皮下脂肪の厚さ (cm)}] \end{aligned}$$

ただし、肉用種枝肉の場合には、2.049を加算する。

(2) 肉質等級

等級 項目	脂肪交雑	肉の色沢	肉の締まり及びきめ	脂肪の色沢と質
5	かなり多いもの	良いもの	かなり良く、かなり細かいもの	かなり良いもの
4	やや多いもの	やや良いもの	やや良く、やや細かいもの	やや良いもの
3	標準のもの	標準のもの	標準のもの	標準のもの
2	やや少ないもの	標準に準ずるもの	標準に準ずるもの	標準に準ずるもの
1	ほとんどないもの	劣るもの	劣り又は粗いもの	劣るもの

注1：脂肪交雑は、胸最長筋並びに背半棘筋及び頭半棘筋について判定する。

2：上記4項目のうち、最も低い等級に決定して格付する。

◎牛枝肉格付結果 格付等級割合

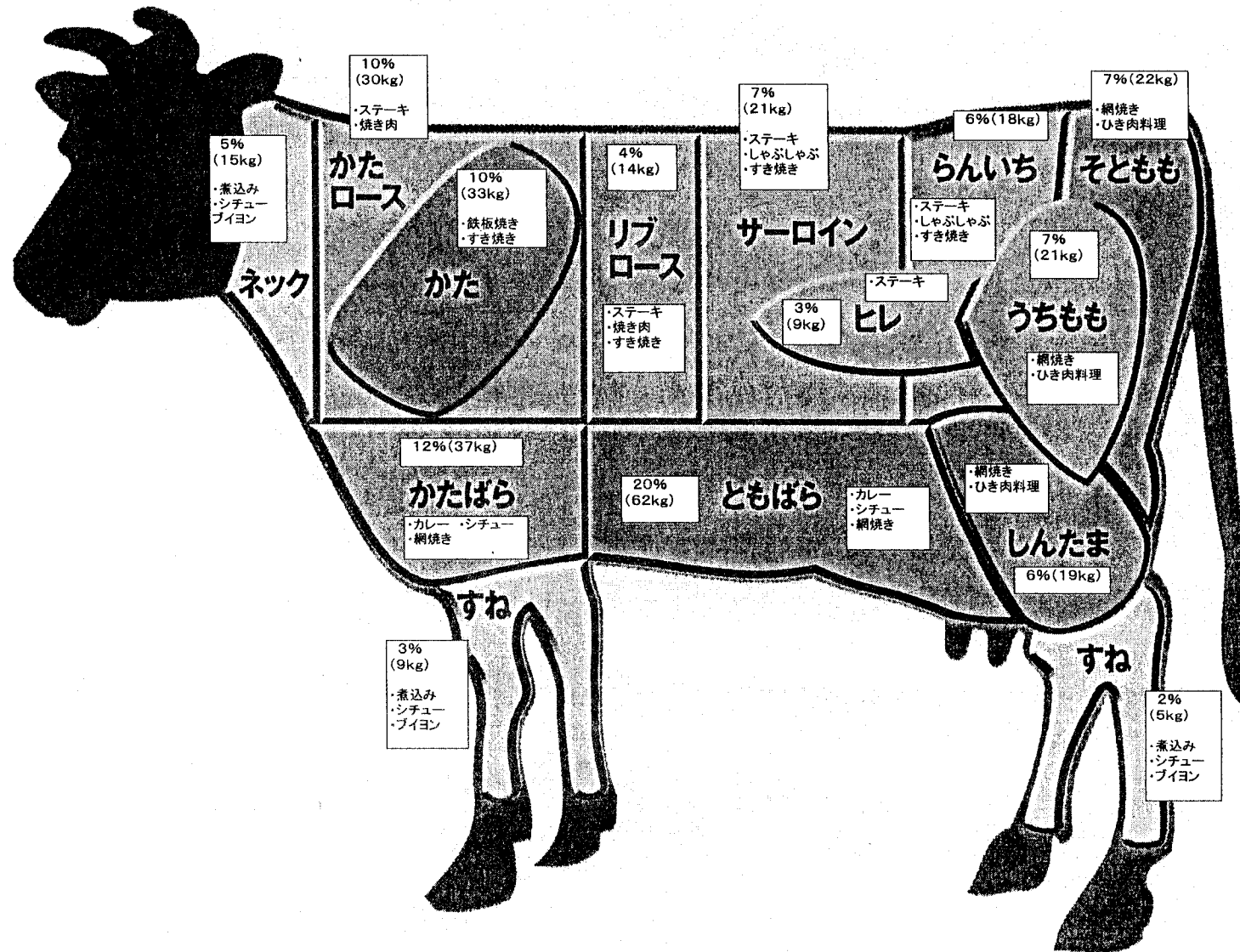
(13年度)

(単位:%)

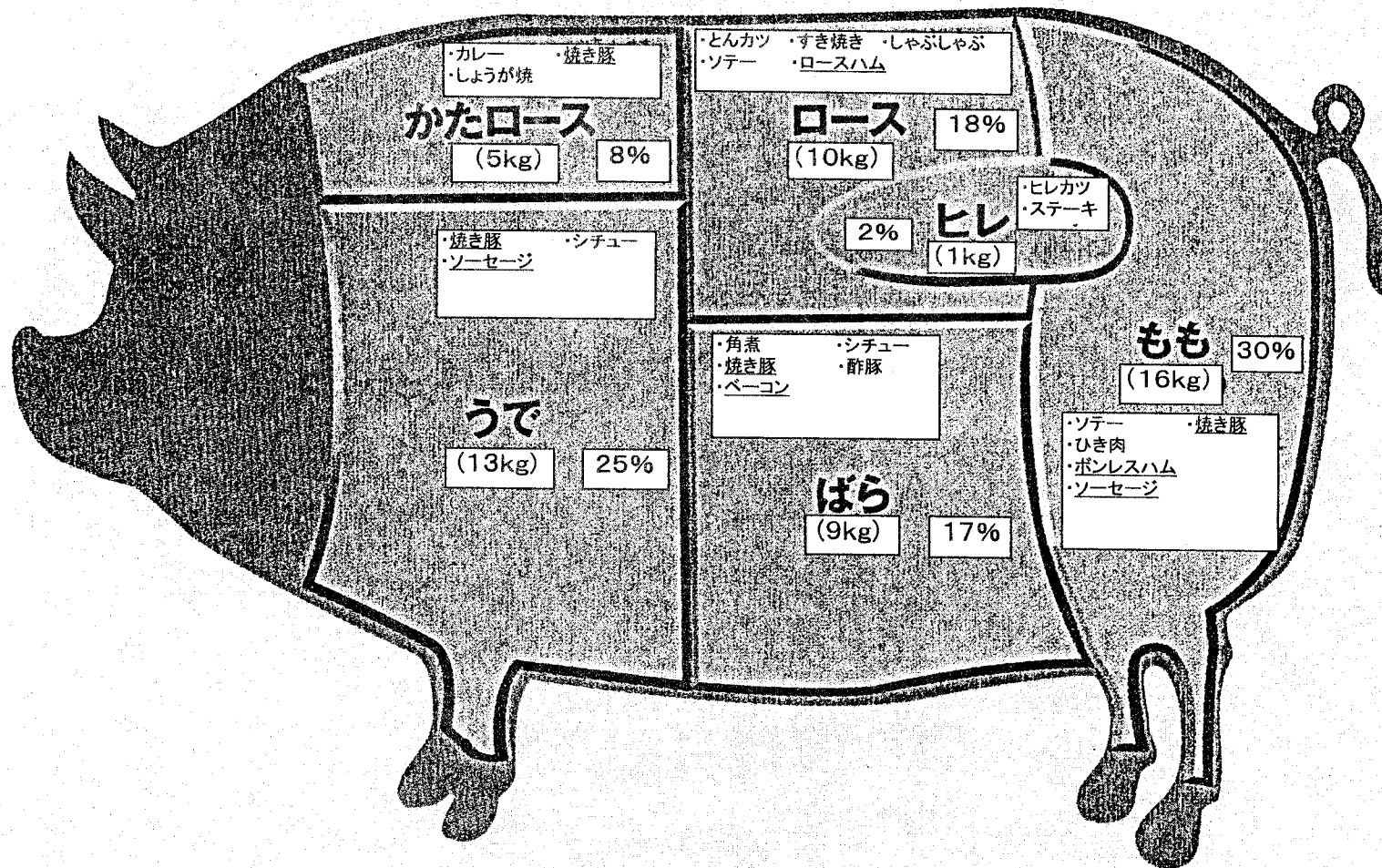
格 付 結 果							
	等級	5	4	3	2	1	計
和牛去勢	A	11.6	26.5	27.2	13.7	0.1	79.0
	B	0.5	3.2	7.9	8.4	0.1	20.2
	C	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.8
乳用牛去勢	A	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.3
	B	0.0	0.1	11.8	61.5	1.3	74.7
	C	0.0	0.0	2.9	19.0	3.0	24.9
交雑種去勢	A	0.3	1.9	3.7	1.9	0.0	7.9
	B	0.4	6.7	36.1	37.9	0.2	81.4
	C	0.0	0.3	3.4	6.3	0.7	10.8
全 体 (めす牛を含む)	A	4.8	11.4	13.2	8.0	0.1	37.5
	B	0.4	3.0	15.0	29.7	0.9	48.9
	C	0.0	0.1	1.6	7.5	4.5	13.6

資料: (社)日本食肉格付協会調べ

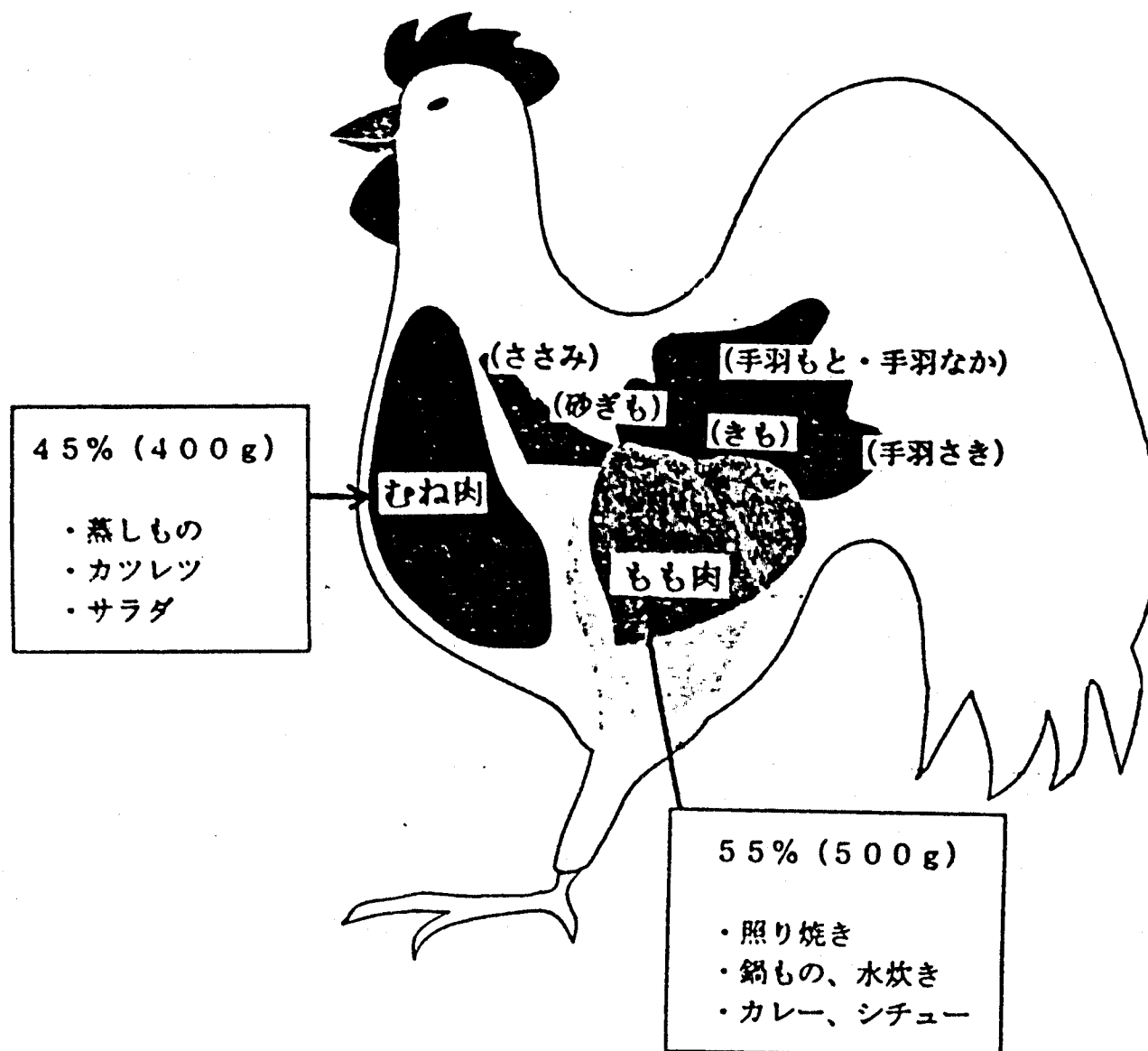
牛部分肉の主な用途(部分肉317kg)



豚部分肉の主な用途（部分肉 5 4 k g）



ブロイラー部分肉の主な用途 (部分肉 約0.9kg)



牛肉需給の推移

(部分肉ベース、単位:千トン, %, kg)

年 度	生 産 量		輸 入 量		消 費 量		1人当たり 消費量
		対前年 増減比		対前年 増減比		対前年 増減比	
30	94	46.9	1	0.0	95	46.2	1.1
35	99	▲ 5.7	4	100.0	103	▲ 3.7	1.1
40	137	▲ 14.4	8	100.0	145	▲ 12.1	1.5
45	197	12.6	23	43.8	221	15.7	2.1
50	235	▲ 5.2	64	128.6	291	1.0	2.5
55	302	7.9	120	▲ 9.1	418	3.7	3.5
60	389	3.2	158	6.0	542	3.0	3.9
62	398	1.0	223	18.6	625	9.3	4.5
63	398	0.1	285	27.6	681	9.1	4.9
元	377	▲ 5.3	364	27.5	697	2.4	5.0
2	388	2.9	384	5.6	766	9.9	5.5
3	407	4.7	327	▲ 14.9	789	3.0	5.6
4	417	2.5	423	29.5	850	7.8	6.0
5	416	▲ 0.2	567	33.9	947	11.4	6.7
6	424	1.8	584	3.0	1,018	7.5	7.2
7	413	▲ 2.5	658	12.7	1,068	4.9	7.5
8	383	▲ 7.4	611	▲ 7.2	990	▲ 7.3	6.9
9	370	▲ 3.3	659	7.8	1,030	4.0	7.2
10	371	0.4	682	3.5	1,051	2.0	7.3
11	381	2.6	683	0.1	1,055	0.4	7.3
12	365	▲ 4.3	738	8.2	1,088	3.1	7.6
13	329	▲ 9.9	608	▲ 17.7	913	▲ 16.1	—
14(4～7)	127	10.3	150	▲ 37.2	296	▲ 18.0	—

資料:農林水産省「食肉流通統計」、財務省「日本貿易統計」

1人当たりの消費量の推移

(部分肉ベース、単位:kg, kcal)

年 度	牛肉	豚肉	鶏肉	肉類計	穀類	魚介類	供給総熱量 (全食料)
30	1.1	0.7	0.3	2.3	154.3	26.3	2,216.9
35	1.1	1.1	0.8	3.5	149.6	27.8	2,290.6
40	1.5	3.0	1.9	7.1	145.0	28.1	2,458.8
45	2.1	5.3	3.7	12.2	128.2	31.6	2,529.0
50	2.5	7.3	5.3	16.9	121.5	34.9	2,517.0
55	3.5	9.6	7.7	22.1	112.9	34.8	2,561.5
60	3.9	9.3	8.4	22.7	107.9	35.3	2,595.6
62	4.5	10.1	9.3	24.9	105.2	36.7	2,623.1
63	4.9	10.3	9.6	25.6	104.2	37.2	2,636.1
元	5.0	10.4	9.6	25.8	103.7	37.4	2,640.7
2	5.5	10.3	9.4	26.0	103.5	37.5	2,639.4
3	5.6	10.4	9.6	26.3	103.2	36.3	2,628.1
4	6.0	10.4	9.8	26.9	102.9	36.7	2,634.3
5	6.7	10.3	9.5	27.1	102.9	37.5	2,624.0
6	7.2	10.4	9.8	27.9	100.7	39.1	2,644.8
7	7.5	10.3	10.1	28.4	102.0	39.3	2,653.3
8	6.9	10.5	10.3	28.1	101.8	38.9	2,669.9
9	7.2	10.2	10.1	27.8	100.6	37.3	2,651.1
10	7.3	10.4	9.9	28.1	98.7	35.5	2,602.1
11	7.3	10.6	10.2	28.5	98.9	35.8	2,619.3
12	7.6	10.6	10.2	28.7	98.6	37.0	2,644.6

資料:農林水産省「食料需給表」

OBSE発生以降における食肉の家計消費量(1人当たり)

(単位:g/人, 円/人、%)

	牛 肉				豚 肉				鶏 肉			
	購入量	前 年 増減比	支出金額	前 年 増減比	購入量	前 年 増減比	支出金額	前 年 増減比	購入量	前 年 増減比	支出金額	前 年 増減比
13年8月	258	▲ 0.4	678	▲ 0.6	395	0.8	548	2.2	251	▲ 2.7	231	▲ 2.5
9月	195	▲ 21.1	491	▲ 19.5	423	5.0	574	5.7	303	1.7	279	2.6
10月	109	▲ 58.4	265	▲ 59.0	479	11.1	654	13.5	345	11.7	325	18.2
11月	131	▲ 48.4	327	▲ 47.8	472	8.5	644	13.6	336	9.1	320	15.5
12月	181	▲ 43.6	543	▲ 44.6	506	11.5	701	16.3	424	7.9	429	16.3
14年1月	158	▲ 35.5	433	▲ 32.8	430	5.9	609	11.9	307	5.5	309	14.0
2月	158	▲ 30.1	393	▲ 30.6	437	10.1	593	12.5	312	6.1	290	9.0
3月	193	▲ 20.2	469	▲ 22.9	463	11.3	615	11.4	318	8.9	295	13.5
4月	202	▲ 14.0	490	▲ 16.7	436	12.7	592	15.6	310	9.5	290	14.6
5月	210	▲ 15.7	524	▲ 16.8	444	10.2	602	10.5	316	14.1	295	17.5
6月	211	▲ 9.8	502	▲ 14.3	421	6.3	588	10.3	296	7.6	279	11.6
7月	201	▲ 15.9	511	▲ 18.4	430	10.5	593	11.3	279	15.8	257	17.9

資料:総務省「家計調査」

牛枝肉卸売価格 「品種別規格別」(中央10市場)

(単位:円/kg)

年度	和去勢A5		和去勢A4		乳去勢B3		乳去勢B2		乳めすC1	
	価格	価格比	価格	価格比	価格	価格比	価格	価格比	価格	価格比
62	2,582	1.95	2,217	1.68	1,322	1.00	1,322	1	722	0.55
63	2,458	2.14	2,088	1.82	1,262	1.10	1,146	1	712	0.62
元	2,612	2.11	2,191	1.77	1,325	1.07	1,240	1	700	0.56
2	2,691	2.58	2,224	2.13	1,255	1.20	1,045	1	378	0.36
3	2,737	3.18	2,201	2.56	1,121	1.30	861	1	331	0.38
4	2,658	3.31	2,053	2.56	1,052	1.31	803	1	316	0.39
5	2,615	3.23	1,952	2.41	1,025	1.27	810	1	216	0.27
6	2,564	3.40	1,893	2.51	1,017	1.35	755	1	241	0.32
7	2,414	3.31	1,789	2.45	1,037	1.42	729	1	272	0.37
8	2,331	2.73	1,816	2.13	1,132	1.33	854	1	285	0.33
9	2,458	2.77	1,968	2.22	1,246	1.41	886	1	320	0.36
10	2,447	3.14	1,950	2.50	1,177	1.51	780	1	229	0.29
11	2,426	3.02	1,897	2.37	1,127	1.41	802	1	234	0.29
12	2,397	2.53	1,876	1.98	1,187	1.25	947	1	331	0.35
13	2,175	4.07	1,622	3.04	797	1.49	534	1	310	0.58
14(4~7)	2,064	3.88	1,548	2.91	783	1.47	532	1	118	0.22

資料:農林水産省「畜産物流通統計(食肉流通統計)」

注1:価格比は「乳去勢B2」を1とした場合の比率

2:昭和63年4月に牛枝肉取引価格が改定されたことから、昭和62年度の和牛去勢A5は「極上」、和牛去勢A4は「上」、乳去勢B3及び乳去勢B2は「中」、乳めすC1「等外」の価格。

食肉卸売業の概要

年 次	商 店 数		常時従業員数			年間販売額		
			計		一店舗当たり	計	一店舗当たり	一従業員当たり
	店	%	人	%	人	百万円	%	百万円
昭和60年	7,182	4.0	67,671	5.9	9.42	5,497,724	21.0	765.5
63	7,664	6.7	77,202	14.1	10.07	6,238,893	13.5	814.1
平成 3年	8,005	4.4	72,702	▲ 5.8	9.08	7,507,876	20.3	937.9
6	8,104	1.2	79,146	8.9	9.77	6,907,555	▲ 8.0	852.4
9	7,921	▲ 2.3	74,988	▲ 5.3	9.47	7,369,246	6.7	930.3
11	8,828	2.5	83,001	0.4	9.40	7,239,501	▲ 10.9	820.1

資料：経済産業省「商業統計」

注1：各項目の%は、増減率である。

2：食肉卸売業とは、主として食肉及び肉製品を卸売する事業所をいう。

（複数の経済活動を行っている事業所の場合は、過去一年間の収入額又は販売額の最も多い経済活動によって決定する。）

3：平成11年商業統計調査について

・全国すべての事業所・企業を対象とした総務庁所管の「事業所・企業統計調査」との同時調査で実施し、平成9年調査時に既設の商店でありながら調査対象とならなかった事業所の補そくを行っているので実数値は連続しない。

・時系列を考慮して修正した平成9年と11年の数値を用いて「増減率」を算出。

食肉小売業の概要

年 次	商 店 数	常時従業員数		年間販売額		
		計	一店舗当たり	計	一店舗当たり	一従業員当たり
	店 %	人 %	人	百万円 %	百万円	百万円
昭和60年	36,171 ▲ 12.6	112,353 ▲ 8.8	3.11	1,353,704 ▲ 4.5	37.4	12.0
63	32,979 ▲ 8.6	108,376 ▲ 3.5	3.29	1,338,429 ▲ 1.1	40.6	12.3
平成 3年	28,808 ▲ 12.6	95,387 ▲ 12.0	3.31	1,361,189 1.7	47.3	14.3
6	24,723 ▲ 14.2	86,545 ▲ 9.3	3.50	1,188,556 ▲ 12.7	48.1	13.7
9	21,046 ▲ 14.9	72,560 ▲ 6.2	3.45	974,803 ▲ 18.0	46.3	13.4
11	19,066 ▲ 13.6	73,322 ▲ 5.4	3.85	955,163 ▲ 9.2	50.1	13.0

資料:経済産業省「商業統計」

注1:各項目の%は、増減率である。

2:食肉小売業とは、主として食肉及び肉製品を小売する事業所をいう。

(複数の経済活動を行っている事業所の場合は、過去一年間の収入額又は販売額の最も多い経済活動によって決定する。)

3:平成11年商業統計調査について

- ・全国すべての事業所・企業を対象とした総務庁所管の「事業所・企業統計調査」との同時調査で実施し、平成9年調査時に既設の商店でありながら調査対象とならなかった事業所の補そくを行っているので実数値は連続しない。
- ・時系列を考慮して修正した平成9年と11年の数値を用いて「増減率」を算出。

○食肉の小売価格(東京都区部価格)

(単位:円/100g、%)

年 度	牛 肉				豚 肉		鶏 肉	
	「肩 肉」		「輸入肉」		「肩 肉」		「もも正肉」	
	価 格	増減比	価 格	増減比	価 格	増減比	価 格	増減比
62	355	0.3	128	▲ 11.7	146	▲ 2.0	105	▲ 4.5
63	355	0.0	118	▲ 7.8	146	0.0	105	0.0
元	371	4.5	120	1.7	150	2.7	106	1.0
2	386	4.0	134	11.7	153	2.0	108	1.9
3	392	1.6	—	—	158	3.3	110	1.9
4	398	1.5	404	—	161	1.9	113	2.7
5	395	▲ 0.8	356	▲ 11.9	160	▲ 0.6	111	▲ 1.8
6	393	▲ 0.5	346	▲ 2.8	159	▲ 0.6	109	▲ 1.8
7	391	▲ 0.5	377	9.0	161	1.3	107	▲ 1.8
8	395	1.0	394	4.5	160	▲ 0.6	109	1.9
9	413	4.6	419	6.3	166	3.8	114	4.6
10	403	▲ 2.4	399	▲ 4.8	161	▲ 3.0	116	1.8
11	397	▲ 1.5	347	▲ 13.0	157	▲ 2.5	116	0.0
12	394	▲ 0.8	335	▲ 3.5	156	▲ 0.6	116	0.0
13	422	7.1	342	2.1	159	1.9	120	3.4
14(4~8)	420	▲ 0.5	330	▲ 3.5	161	1.3	124	6.9
13年8月	424	10.1	334	▲ 1.5	160	1.9	117	0.9
9	420	6.9	352	1.7	157	▲ 0.6	118	2.6
10	416	6.7	351	7.0	162	2.5	118	2.6
11	438	11.7	359	12.5	161	2.5	121	5.2
12	419	6.6	315	▲ 0.9	157	1.3	125	8.7
14年1月	422	5.8	342	4.3	157	1.9	127	11.4
2	428	5.4	363	11.7	160	3.9	126	8.6
3	423	4.4	354	9.3	159	3.2	126	7.7
4	424	1.9	342	4.6	157	1.9	124	6.9
5	420	▲ 2.1	338	0.6	158	0.6	125	7.8
6	424	5.0	321	▲ 5.3	160	0.0	123	6.0
7	413	▲ 3.2	331	0.3	163	0.6	123	6.0
8	420	▲ 0.9	316	5.4	168	5.6	126	7.7

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

注:牛肉のうち「輸入肉」は4年1月から調査対象品目を「冷蔵肩肉からチルドローズ」に変更。